





新年あけましておめでとうございます。今年もいろいろな食べ物を食べ、たくさんの"おいしい"を感じてほしいです。1月には、年始の伝統行事を始め、全国学校給食週間があります。学校給食では、日本の食文化や伝統的な食べ物を知ってもらえるように、豆・魚・海藻を使ったり、和食の献立を取り入れたりしています。日本の食文化を大切にしていきましょう。

## 正月の食文化 -お正月に食べる「おせち料理」の意味を知ろう!-



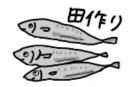
腰が曲がるまで 健康で長生きできますように。



赤と白はおめでたい色。 赤はめでたさ、白は清らかさ



お金が貯まりますように。



作物が豊かに実りますように。



家族がその地にしっかり根を 張り、安泰に暮らせますように。



一年中「まめ」に働き、 「まめ」に暮らせますように。



先の見通しがききますように



子孫に恵まれますように。



「よろこぶ」と「こんぶ」を かけて「よろこんぶ」



しっかり勉強ができ、 学問が実りますように。

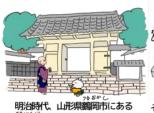


家族が仲良く結ばれ、 ずっと一緒にいられますように。





学校給食の起源は、明治22(1889)年にさかのぼります。山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこられない子供たちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。戦争が終わっても食料不足は続き、子供たちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。



明治時代、山形県鶴岡市にある 大智寺で給食が始まりました。



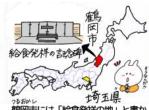
全国の子供たちは、お腹を空かせて やせほそってしまいます。



それは、お昼ごはんを持ってこられない子供たちのためのものでした。



すると、世界の国々から日本の子供 たちを助けようと、脱脂粉乳、小麦 粉、缶詰などが送られてきました。



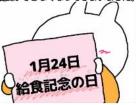
鶴岡市には「給食発祥の地」と書かれた記念碑があります。



そして戦後、給食が再び始まった のが12月24日!



その後、戦争により、今まで行っていた給食ができなくなってしまいました。



12月24日は冬休みなので、1月24日 を記念日とし、給食について考える 週間としています。